



こばやし かつゆき  
小林 克行  
(民声クラブ)

### 少子高齢化対策・ 学校教育の充実について

#### 交通弱者対策について

**問** 京丹後市では、アメリカの配車サービスのアプリを活用した取り組みをしている。参考にすべきでは。

**答** いわゆる「白タク」は日本では禁止されていますが、この地区は例外規定として「公共交通空白地有償運送制度」を活用しています。

**問** ゴミ出しが大変な作業の高齢者もいる。対策は。

**答** ホームヘルパーによるゴミ出し支援があります。また、地域支援事業の中で、ゴミ出し支援を進めている地区もあります。

**問** 近くに郵便ポストがなくて不便という相談をよく受ける。対策を検討すべきでは。

**答** ちいき生活応援隊の支援活動の中で郵便ポストへの投函を検討している地域もあります。

#### スクールバスについて

**問** 少子化の影響で、下校時など

一人での時間の長い児童がいる。大変危険であり、スクールバス等を使うように、利用条件を緩和すべきでは。

**答** 今後検討します。

#### 空き家等の活用について

**問** 芸術家などに空き家を貸し出し、一定期間住んでもらうような事業を検討してはどうか。

**答** 注目されている取り組みであり、今後研究していきます。その他、中学校の改革、教職員負担軽減について質問しました。



京丹後市の配車サービスのホームページ



たかはし よしのぶ  
高橋 由信  
(無所属)

### 移住定住促進施策・ 防災対策について

#### 避難勧告等に関するガイドラインの改定に伴う市の対応について

**問** ガイドライン改定の内容は。

**答** 5段階の警戒レベルで表し、

レベル3は避難準備・高齢者避難開始、レベル4は避難勧告、避難指示（緊急）、レベル5は災害発生情報を市町村が発令し、住民自らが取るべき行動をお知らせします。

**問** 改定内容の周知方法は。

**答** 市ホームページ、ツイッター、お知らせ版、9月号の広報紙、市の出前講座等で周知します。

**問** 避難段階が分かるシールや、災害ガイドブック等の更新は。

**答** シールは検討し、ガイドブックは来年度更新予定です。

#### 福祉避難所について

**問** 現在の福祉避難所設置状況は。

**答** 今年度までに、協定を交した施設は15カ所となりました。

**問** 福祉避難所、要配慮者、行政等のネットワーク化を図り、情

報や問題点を共有し、福祉避難所設置・運営マニュアルを早急に検討し作成すべきではないか。

**答** 関係者等の意見を参考にし、

具体的運営マニュアル策定に向け努力します。福祉避難所のある地域の自主防災組織、民生委員、各避難関係者等とも連携を図り、より良い運営を行えるよう取り組んでいきます。

その他1項目、移住・定住促進施策について4点質問いたしました。



のどの荘（福祉避難所）